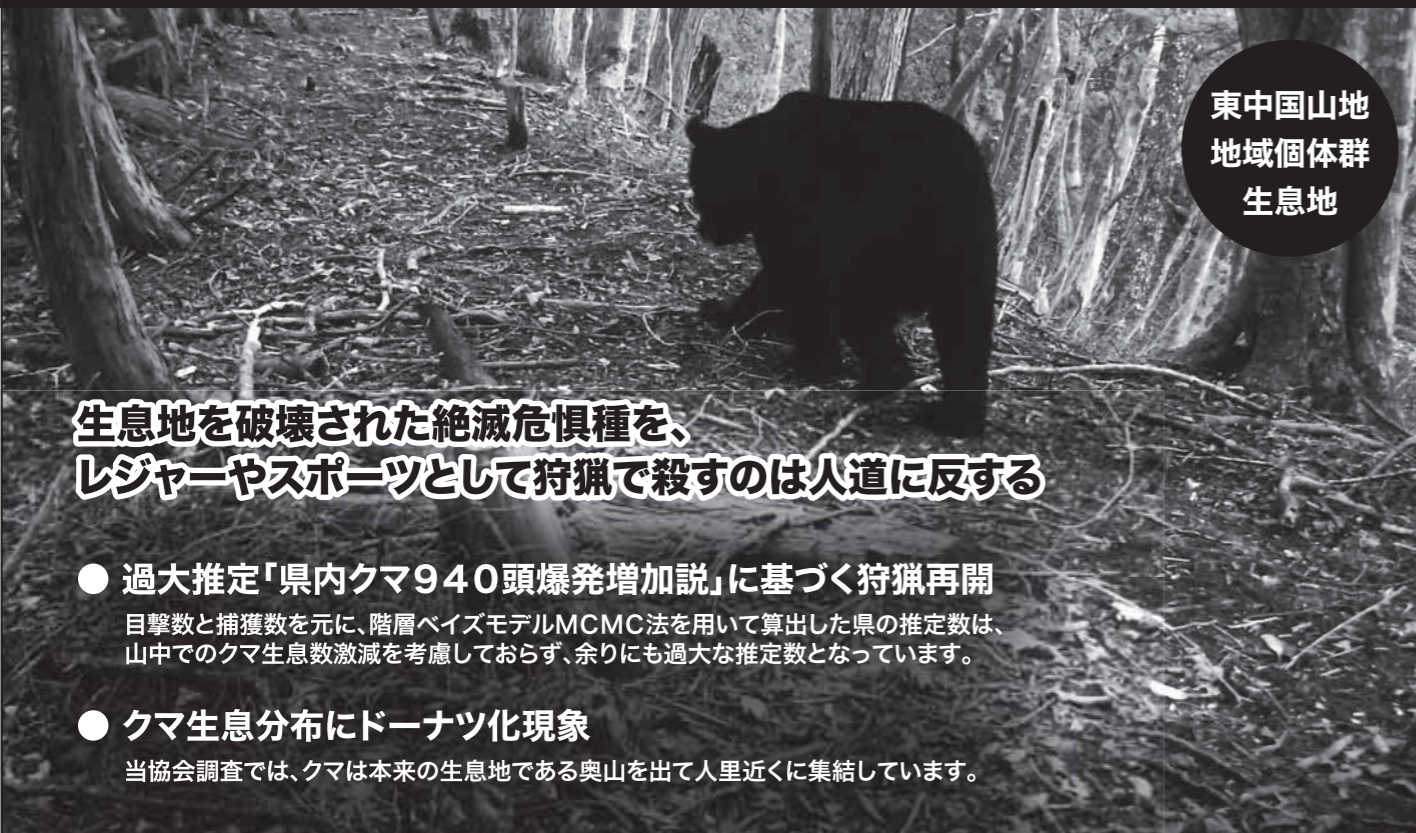


意見広告



兵庫県のクマ狩猟再開に反対します



東中国山地
地域個体群
生息地

生息地を破壊された絶滅危惧種を、
レジャーやスポーツとして狩猟で殺すのは人道に反する

- 過大推定「県内クマ940頭爆発増加説」に基づく狩猟再開
目撃数と捕獲数を元に、階層ベイズモデルMCMC法を用いて算出した県の推定数は、山中でのクマ生息数激減を考慮しておらず、余りにも過大な推定数となっています。
- クマ生息分布にドーナツ化現象
当協会調査では、クマは本来の生息地である奥山を出て人里近くに集結しています。



近畿北部
地域個体群
生息地

- 兵庫の山は浅く、開発と放置人工林で砂漠化
外からは青々と見える山も、内部は多くが大荒廃。
- わずかに残された自然林の内部も急速に劣化
ナラ枯れやシカの食害、地球温暖化などで、下草や低木・昆虫が消え、食料も実りも消滅しています。
- 西日本で兵庫だけが生命軽視の狩猟再開
昨年度、県内で里に出てきて有害捕殺されたクマは18頭です。狩猟を再開する必要などありません。
今、私たちがすべきことは、被害防除対策を強化しつつ、子や孫のために、全生物のために、死んだ山の再生に本気で取り組むことです。

下層植生が消滅した山の中は大荒廃

えさ場なし、逃げ場なし、隠れ場なし

動物たちに帰れる森を 地元で安心して クマたちも棲める水源の森再生

一般財団法人

日本熊森協会

兵庫県西宮市分銅町 1-4
Tel/0798-22-4190

会長 森山まり子
Mail/contact@kumamori.org